

<再編の具体的な考え方、進め方>	
1	<p>小中学校の再編は、学校の単なる数合わせのための取組なのではないか？</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【回 答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模な学校が教育内容の面で不十分、ということではないですが、将来にわたって、子どもの成長段階を追っていくときに、やはり、小学校の段階で学年1クラスしかなく、クラス替えができないままその状態が中学校卒業までずっと続くという環境は変えるべきだと考えています。 ・生野区では、本市の学校統廃合に関する従来からの考え方であった「規模の小さな学校から順次統廃合を実施する」ということではなく、全ての対象地域で子ども達にとってよりよい教育環境を安定的に維持していけるよう、新しく学校を再構築していくことをめざしています。 ・この教育特区構想は、大阪市が持っている教育資源・ノウハウを、「特区」という形で生野区に投入していき、地域住民のみなさんにも入っていただいて、就学前（幼稚園・保育園・保育所）の時期から義務教育を終えるまでは、こどもたちが生野区内で充実した教育環境の中で成長できるよう環境を整えることを考えていくためのものです。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学校区を基本とした再編」というのはどういうことか？ ・再編のタイミングは異なるのか？ <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【回 答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで教育環境の再編については、A・Bブロックごとに地域・保護者の皆さんに集まっていただき意見交換を行ってきましたが、今後は、現在の中学校区をひとつの再編単位として検討することとします。 ・具体的には、鶴橋中学校下で北鶴橋小学校と鶴橋小学校がひとつのグループ、勝山中学校下で勝山小学校と東桃谷小学校がひとつのグループとして検討をすすめていきますが、鶴橋中学校については、学年複数クラスの維持が出来ないなど将来の持続可能な規模に課題が見込まれますので、周辺の中学校との再編も視野に入れながら検討していくこととなります。 ・生野中学校下では林寺小学校、生野小学校、舍利寺小学校、西生野小学校をひとつのグループとして検討をすすめますが、このうち舍利寺小学校については、現在、進学先中学校が生野中学校と大池中学校に分かれているという課題についても、今回の再編を通して解消し、より円滑な小中連携を実現したいと考えています。 ・また、田島中学校下として田島小学校と生野南小学校を、大池中学校下として御幸森小学校、中川小学校それぞれをひとつのグループとして検討をすすめていきたいと考えています。 ・再編のタイミングについては、新たに中学校同士を再編する場合、その対象となる小中学校の統合の時期は一緒になります。ただし、生野区西部地域の全ての学校が同じタイミングで新学校をスタートさせるということではなく、これから話し合いを進めていく中で、まとめていく時期とか、統合内容によっては時間がかかることとなります。
3	<p>「小中一貫した教育」とは具体的にどういうことなのか？</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【回 答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校から中学校まで一貫した教育プログラム（学習指導や生徒指導等）により、小学校と中学校がより連携を深める形の教育ということです。 ・なお、小中一貫教育には、市立いまみや小中一貫校のように、小学校と中学校が同じ場所にあり1～9年生が同じ学校で学ぶいわゆる「施設一体型」や小学校と中学校が別の場所にある「隣接型」「連携型」といったものがあります。

「生野区西部地域教育特区構想」について寄せられたご意見とその回答（平成27年10月更新）

4	<p>中学校区を基本に考えていくとなると、現在、同じ地域から別々の小学校・中学校へ通学している地域では、そのまま別々の学校に通うことになるのか？</p> <hr/> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none">・同じ小学校に通学する子どもが、卒業して別々の中学校に進学するような状態は解消したいと考えています。そのためにも、中学校区単位で保護者や住民の皆さんと議論していくことが必要と考えています。
5	<ul style="list-style-type: none">・今学校がある場所だけでなく、新しい場所に学校を設置する可能性もあるのか？・通学距離 <hr/> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none">・生野区西部地域には、学校用地として適切な広いまとまった土地はほとんどないため、新たに用地を取得するとなると、かなりの時間と経費を要することになり、非常に困難です。したがって、学校再編においては、今すでに学校がある場所を基本として考えていくこととなります。・学校再編により、通学距離が今よりも遠くなるという点については、通学路の安全確保に向けた取組みのほか、学校選択制の導入や校区設定の見直しといったことも併せて検討する必要があると考えています。

＜教育内容について＞	
6	<p>・教育特区構想により、教育体制が充実した学校とそうでない学校が混在することになるのか、区内の全学校において教育体制が充実するのか？</p> <p>-----</p> <p>【回答】</p> <p>・予算には限りがありますので、生野区内の全ての学校を対象に一度に実施するのは非常に困難ですが、この教育特区構想では、子どもの数が急激に減少している生野区西部地域の全ての学校に、小中一貫した教育プログラムを導入していくこととしています。まずは、西部地域をモデルケースにして今後全地域に広げていこうという考え方で取り組んでいます。</p> <p>・制度、仕組み、考え方など大きな枠組みを学校によって全然違うものにするというのは、現実的に困難です。新たな学校ごとに保護者や住民の皆さん、学校、行政が参画した協議の場を設け、その中で新しい学校づくりについて話し合いを行いますので、個々の地域・学校ごとで、取り組み方や特色が異なることはあり得ると思われます。（特色ある教育の内容例は、生野区西部地域教育特区構想の2参照）</p>
7	<p>・小中一貫した教育の充実ということだが、中学校の教員免許しか持っていない先生が小学校に行って授業をすることが可能なのか？</p> <p>・「教員の増員」とあるが、これは小中一貫した教育ということで、中学校の先生が小学校に教えに行くなど教育を充実するためには先生の増員が必要になるということか？</p> <p>-----</p> <p>【回答】</p> <p>・小学校の先生と連携し、中学校の先生が専門的なことを教えるという「チームティーチング」により、小学校と中学校が連携して専門的な授業を小学校で行うといった取組も進められています。</p> <p>・中学校は教科担任制ですが、生徒数が減って学級数が少なくなると、配置される教員の数に限りがあるため、技術家庭の科目などはそれぞれの学校だけでは教員の確保ができず、一人の先生が2つの中学校を行き来するような事態もあります。そのような状況で中学校の先生がさらに小学校まで行くことになれば、中学校の負担はますます大きくなってしまいます。また、小学校の場合は、同じ学年に複数の教員がいないことで、教育内容について互いに相談・連携できないといった状況もあります。生野区では、小中一貫した教育の導入に合わせ、このような課題を解消していきたいと考えています。</p>
8	<p>小中一貫という仕組みにはメリット、デメリットがあるということを踏まえながら、小中一貫した教育という方針を学校現場の教員の声も確認しながら進めていくべきと考える。</p> <p>-----</p> <p>【回答】</p> <p>・「小中一貫した教育」の考え方は、元来、従前から学校現場で自発的に行われてきたさまざまな小中連携の取組みに端を発するものです。今後、新しい学校づくりに際しては、小中一貫教育を経験された先生や現場の先生の声も聞きながら、教育特区構想を具体化させていきたいと考えています。</p>
9	<p>「特区構想」では、1クラスあたりの児童生徒数の定員は変わるのか？</p> <p>-----</p> <p>【回答】</p> <p>・学級定員については、現状、国の基準として1クラス40人以内とされており、その範囲内で大阪府では、小学校1,2年生で1クラス35人という基準を設けています。これら学級編成の基準については、国の法令や府の基準を踏まえて市内一律に決定しており、生野区だけ定員を変更するというのは困難です。しかし、定員自体を変更することができなくても、習熟度別少人数授業のさらなる充実や、小中連携の強化によって、中学校の教員が小学生にも教科指導を行うなど、子どもたちにきめ細やかな指導を行うための環境は実質的に整えることができると考えています。</p>

「生野区西部地域教育特区構想」について寄せられたご意見とその回答（平成27年10月更新）

10	<p>特区構想では「特色ある教育内容の導入」ということで例示されているが、公教育は均質な教育環境を保障することが必要なのではないか？</p> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立の全ての学校では、文部科学省が定める学習指導要領に基づき、また、本市教育委員会の方針を踏まえて、一定水準の教育を実施しています。しかしそれらの教育内容に加えて、子どもや保護者の意向に応え、学校や地域の実情に応じて、特色ある学校づくりを進め学校の活性化を図ることもまた、重要であると考えています。 ・教育特区構想では、小中一貫した教育の充実を中心に、特色ある学校づくりを推進していきます。
11	<p>よりよい教育環境の実現に向け、質の高い、実践力のある教員を確保していただきたい。</p> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、定年を迎えた教員が同時期に大量に退職していることにより、これまで学校現場で培われてきた指導ノウハウの継承や、若手教員の育成など、教員の質の確保は教育委員会として全市的な課題であると認識しています。 ・教員の質の確保や資質向上という面からみて、学校にベテランから若手まで一定数の教員がバランスよく配置されて、お互いに相談・協力できる組織的な体制を確保することは大変重要です。現状においても人員配置の工夫は行っていますが、一方で今後、さらに質の高い教員の採用に向けての取組なども併せて進めていく必要があると考えています。 ・教員配置については学級数に応じて一定の基準が設けられていますが、今回の教育特区構想においては、小中連携をさらに進めるための教職員配置について、検討を進めています。 ・現状、学校現場では、若年層の教員の占める割合が高まっており、学年単学級の小規模校では、学年で1人しか教員が配置されないことから、経験やノウハウの少ない若手の教員が、学級運営や指導方法について日常的に相談できる相手がいないといった課題も抱えています。適正な規模の学校となることで、教員の数が増え、教員同士が互いに相談し合い、指導力を高めていけるような環境づくりにもつなげていきたいと考えています。
12	<p>生野区は民族学級・クラブが設置されている学校が多いという地域状況を踏まえ、どう学校再編を進めていこうと考えているのか？</p> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生野区内では、常勤講師が在籍する「民族学級」が小学校6校に設置されているほか、教育委員会事務局の事業として非常勤講師を派遣する「民族クラブ」が区内の小学校・中学校合わせて10校（市内では約100校）で設置されており、各校で国際理解・多文化共生教育の取組が行われています。今後、再編後の新しい学校づくりについて保護者、地域住民のみなさんとお話していく中で、新しい学校での国際理解・多文化共生教育のあり方についても検討していきたいと考えています。

< 地域との関係について >	
13	<p>統廃合するのは学校だけということだが、連合振興町会の統廃合は全くないということか？</p> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合振興町会の構成は行政が主体的に取り扱う事案ではありません。地域住民のみなさんどうし話し合いの結果、住民の総意で町会を統合される（あるいは分離される）ということはあるかもしれませんが、区役所あるいは教育委員会から、学校の統合を契機として該当する町会どうしが一緒になるようにお勧めするようなことは、一切ありません。
14	<p>学校の跡地活用の方策についてはどう考えているのか？</p> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、学校の跡地を含む未利用地については原則として全て売却処分していくということが本市の基本的な方針でしたが、今後は、学校跡地についてはその例外として、地域コミュニティの核や防災の拠点として果たしてきた役割を重視し、土地や建物の転活用を検討することとしています。 ・跡地の管理については、全てを地域に任せるのではなく、例えば、非常時には防災拠点としてその場所を活用することを前提として、学校跡地を子育て支援のために転活用し、その実施事業者が管理を行うといった方法も検討していきたいと考えています。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・生野区全体の少子化が急速すぎて、学校環境だけの問題ではなく、空き家対策や交通、防災・防犯についても今話をしないと、これから先にも同じ話(学校の統廃合)を2回、3回と繰り返すことになり、保護者も地域住民のみなさんも非常に辛い思いをすることになりかねない。 ・まち全体のことも考えて、子どもを増やすつもりで「特区」を打ち上げていただき、前向きに、子どもがどんどん生野区にやってくるようなイメージづくりもお願いしたい。 <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育特区という形で学校環境を整えていくことで、多くの人々がまた生野区に住みたいと思うことにつながっていくのではないかと考えています。 ・また、教育環境の整備と併せて住環境の整備が進まなければ、魅力あるまちづくりにはつながりませんので、今後、生野区内の学校に行きたいと思ってもらえるような仕掛けを行政関係部署をはじめ保護者や住民の皆さんと一緒に検討していきたいと思えます。

＜今後のスケジュール＞	
16	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校再編整備計画（案）」は、いつ頃に取りまとめようと思っているのか？市長が替わればこの教育特区構想の方針も変わるのか？ ・子どものためにも早く案を示し、具体的な議論を進めてほしい。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の小規模化が進んでいる教育環境の再編を行うという方針そのものは教育委員会で決定していることであり、今回の教育特区構想の内容についても、市長が替わることによって変更されるものではありませんが、再編を具体化させていくために必要な予算を編成、執行するのは市長です。したがって、今年11月に実施される市長選後に改めて市長に確認したうえで、年明けには学校再編整備計画（案）を皆さんにお示ししていきたいと考えています。 ・再編整備計画（案）については、保護者や地域住民のみなさんと再編後の学校づくりなどの議論のベースとなるような柔軟性のあるものを提示していきたいと考えています。 ・それまでの間には、ブロック単位程度の規模での説明会や小グループへの出前講座などの場を設けるなどして区民の皆さんに丁寧にご説明していきます。 ・今までの小学校の統廃合の実例として、新しい学校に必要な施設等を整備するのに一般的に2～3年かかっています。「生野区小・中学校教育環境再編方針」で最短の場合のモデルスケジュールをお示ししているのでひとつの参考としていただければと思います。 ・今後、保護者や地域住民の皆さんと一緒に考えていただき具体的な再編内容が決まれば、移行するまでの間に、さらに検討や課題解決に向けて保護者や地域住民の皆さんと一緒に取組を進めていくことになると考えています。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業するまでに学校が再編されてなくなってしまうと、子どもが新しい環境に馴染めるか不安。 ・学校再編の際には、学校どうしの行事のすり合わせや授業のカリキュラムなど、沢山のことを調整する時間が必要。現場の先生方とか地域住民のみなさんで、移行に向けての話し合いなど調整するための準備期間を十分に設けて欲しい。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【回答】</p> <p>再編整備計画（案）を早く提示し、子どもたちには新しい環境に慣れてもらうための時間、学校には準備の期間、地域住民のみなさんの方には一緒に考えていただける時間を出来るだけ長く作りたいと思っています。</p>

<ご意見等>	
18	<p>特区構想では、学力や体力の向上をめざすとあるが、まずは現状を広く知ってもらうことが必要。 「全国学力・学習状況調査」において、小規模校の結果は非公開とされているが、これを公表していくべきではないか。</p> <hr/> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none">・「全国学力・学習状況調査」の学校別の結果の公表については、調査対象となる学年について、1クラスしかない学校については、公表による子どもへの影響などに配慮し、各学校の判断で非公開とすることができますとしています。・再編の取組を進めていく中で、新しい学校の具体的な配置が決まれば、その新しい学校区単位で結果を公表するなどし、教育環境の再編の前後における結果の変化を検証することも教育委員会事務局として検討していきます。
19	<p>一般的には、教員が多いほど手厚い教育を行い、学力が高くなると考えるが、実際には、児童生徒数が多く、一人の教員が見る子どもの数が多いにもかかわらず、学力が高い学校もあるということであれば、その原因について分析は行っているのか？</p> <hr/> <p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none">・教育委員会において、全国学力・学習状況調査の結果についてさまざまな分析を行っており、そのなかで、学級規模と児童の学力に相関関係がないことは明らかとなっています。